



平成 28 年 1 月 18 日

## 新年のご挨拶

株主の皆様

明けましておめでとうございます。

平成 27 年は当社にとって重要な年でありました。皆様のご支援のおかげで、当社グループは、特発性肺線維症（IPF）治療薬であるアイスーリュイの販売、肝線維症等治療薬である F351 の中国での臨床試験、及び F351 の米国での新薬治験申請（IND）準備に注力することができました。同時に、当社初の導入品であるタミバロテンの中国における輸入薬登録申請を行いました。タミバロテンが承認された場合、当社が中国市場に導入する希少疾患用医薬品の第二号となり、他に治療法がない患者の方々に治療薬をお届けすることができます。北京の製造工場におきましては、今後数年間の販売拡大に備え、工場設備の改良を行い、製造能力を 3 倍にいたしました。

今後につきましては、平成 28 年は当社にとって明るい年になると確信しております。まず、アイスーリュイは、重篤な病気である IPF の中国における唯一の承認薬であることから、当社子会社の北京コンチネント薬業有限公司における売上高は着実に増加すると見込まれます。また、急拡大を続ける中国ヘルスケア市場が数年のうちに減速するとは考えられない状況下で、北京コンチネント薬業有限公司は当社グループ全体に安定性と成長性をもたらすものです。

一方で、F351 の中国における臨床試験については、治験患者の組入れが殆ど終了し、順調に進捗してきております。第 2 相臨床試験の結果が良好であれば、それは当社にとってアイスーリュイの売上高増加に劣らず価値のあることと考えております。さらに、既に申請を行ったタミバロテンの承認も期待して待っているところです。F351、タミバロテン、そしてその他の開発中の医薬品のパイプラインは、今後 5～10 年間の当社の成長の原動力となります。

世界経済は、原材料価格の下落、株式市場の乱高下、為替レートの変動等に象徴されるように不安定な状況ではありますが、ヘルスケア業界はこれらの諸要素に影響されにくいという過去の事実もあり、当社の携わるヘルスケア事業への影響は最小限に抑えられると考えております。また、当社の資金は、アイスーリュイの売上増加やタミバロテンの承認後の売上に頼らずとも、この先 3 年間の研究開発を賄うに十分であります。さらに、本年は医療保険制度が改定され、アイスーリュイをより多くの患者に届けられることとなることも期待しております。

以上のことから、平成 28 年は当社にとって素晴らしい年となることを確信しております。当社グループは、東京本社による厳格かつコンプライアンスに従った運営管理の下、安定性と成長性を両立させています。株主の皆様には、当社への投資を通じ、急成長を遂げて

いる中国ヘルスケア市場へのアクセスを提供し続けてまいります。当社の事業の進捗等については、ウェブサイトや適時開示等をご参照下さい。

今後とも、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

取締役代表執行役社長兼 CEO  
イ ン ・ ル オ